



Title	一圓光彌教授 略歴及び研究業績
Author(s)	
Citation	政策創造研究, 6: 239-262
Issue Date	2013-03-30
URL	http://hdl.handle.net/10112/7765
Rights	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

一圓光彌教授 略歴及び研究業績

略 歴

- 1943年 高知県香美郡土佐山田町に生まれる（2月18日）
- 1955年 関西学院中学部入学
- 1958年 関西学院高等部入学
- 1961年 関西学院大学経済学部入学
- 1962～63年 米合衆国オハイオ州フェン大学留学
- 1966年 関西学院大学経済学部卒業
- 1971年 関西学院大学大学院経済学研究科博士課程終了
- 1969年 関西学院大学経済学部助手
- 1972年 健康保険組合連合会社会保障研究室研究員
- 1978年 国立公衆衛生院衛生行政学部主任研究官
- 1981年 関西大学経済学部助教授
- 1985年 関西大学経済学部教授
- 2007年 関西大学政策創造学部教授
- 2010年 関西大学退職
- 2010年 関西大学政策創造学部名誉教授・特別契約教授 現在に至る
- 1989～93年 財団法人兵庫県長寿社会研究機構 常務理事兼主任研究員
- 1998～04年 大阪府地方労働委員会 公益委員
- 1996～00年 日本公共政策学会理事
- 1999～05年 生活経済学会理事
- 2007～13年 生活経済学会理事 副会長（2009から11年）

研究業績

【海外研究・報告】

- 1974年 国際社会保障協会 (ISSA)、アジア・オセアニア地域「医療保障に関する円卓会議」日本代表 (フィリッピン、ケソンシティ)
- 1979年 米合衆国コーネル大学大学院経営学研究科、保健医療管理職者研修コース、フェローシップを得て修了
- 1984年 ブリティッシュ・カウンシルの助成によりロンドン大学 (LSE) 留学
- 1987~88年 関西大学の在外研究員として渡欧 ロンドン大学 (LSE) 客員教授 国際労働事務局 (ILO) 社会保障部に在籍
- 1995年 ベルギー、ルーベン・カトリック大学・国際社会保障研究所に同大学と関西大学との協定に基づく交換研究員として在籍
- 2000年 韓国医療政策学会主催国際シンポジウム 医療保険改革に関して報告
- 2004年 ベルギー、ルーベン・カトリック大学 法学部客員教授
- 2005年 国際労働研究所 (ILS) 客員研究員
- 2006年 ベルギー、社会保障の権利に関する国際会議 報告
- 2006年 国保中央会調査団：イギリス 家庭医の報酬に関する聞き取り調査
- 2008年 国保中央会調査団：イギリス・フランス 家庭医制度に関する聞き取り調査
- 2009年 中国、日中韓社会保障国際会議 年金保険改革のあり方について報告
- 2010年 中国、日中韓社会保障国際会議 医療保険改革のあり方について報告

【受賞・学位】

- 1964年 第9回高松宮杯全国学生英語弁論大会優勝”Our Role in Asia and in the World”
- 1972年 社会保障研究奨励賞：対象論文「ナショナル・ミニマム論再考」
- 1986年 経済学博士 (関西学院大学)：対象論文「イギリス社会保障論」

【著 書】

〔単 著〕

- 1982年4月 『イギリス社会保障論』 光生館
1993年3月 『自ら築く福祉—普遍的な社会保障をもとめて』 大蔵省印刷局
1996年6月 『自ら築く福祉—普遍的な社会保障をもとめて（改訂版）』 大蔵省印刷局
1997年4月 『社会保障論』 誠信書房 第6版（2005年4月）まで改版

〔共 著〕

- 1996年5月 岡本・八田・木村・一圓 『福祉は投資である』 日本評論社
1999年3月 一圓光彌・吉田しおり 『市町村国民健康保険と自治体の介護政策』 関西大学出版部

〔編 著〕

- 2002年10月 齋藤・山本・一圓編 『福祉財政論』 有斐閣（「福祉の制度体系と運営主体の役割」）
2002年12月 秋元・一圓・栃本・椋野編 『社会保障の制度と行財政』 有斐閣（「社会保障の技術と体系」）
2003年5月 一圓光彌編著 『医療保障論』 光生館（「21世紀の医療保障の条件」）
2009年3月 一圓光彌編著 『社会保障論概説』 誠信書房（第1章「現代社会と社会保障」分担執筆）第2版（2011年3月）（第1章「現代社会と社会保障」分担執筆）

【論 文】

- 1968年3月 「日本における社会政策本質論争とその残したもの」（修士論文）
1968年3月 「大河内教授の総資本概念について」『関西学院経済学研究』No. 1
1971年5月 「イギリス老齡年金制度の課題」『週刊社会保障』Vol. 25, No. 618

(1971.5.24)

- 1971年12月 「選別主義か普遍主義か——ティトマスの社会保障論を中心に」『週刊社会保障』Vol. 25, No. 646 (1971.12.6)
- 1972年7月 「ナショナル・ミニマム論再考」『国際社会保障研究』No. 8
- 1975年3月 「アジア諸国の社会保障」『海外社会保障情報』No. 29
- 1975年8月 「イギリスにおける私的医療」『週刊社会保障』Vol. 29, No. 835 (1975.8.18)
- 1975年9月 「イギリスの国民保健サービスと医療の社会化」『国際社会保障研究』No. 16
- 1976年3月 「イギリスにおける社会保障制度とその費用負担」『国際社会保障研究』No. 17
- 1976年5月 「イギリスの福祉政策の動向」『ジュリスト』No. 612 (1976.5.15)
- 1976年9月 「イギリスの社会保障の最近の動向」『季刊社会保障研究』Vol. 12, No. 2
- 1976年11月 「イギリス国民保健サービス費の動向」『社会保険旬報』No. 1196 (1976.11.1)
- 1978年6月 「年金・イギリス」角田・奈倉編『高齢化社会と社会保障』法律文化社
- 1978年12月 「イギリス国民保健サービスの動向」『季刊労働法』No. 110
- 1979年3月 「西欧諸国の社会保障と財源調達：イギリス」藤田晴編『社会保障の財源調達に関する総合的研究』(52・53年度総理府社会保障制度審議会事務局委託研究報告書)
- 1979年3月 「イギリス社会保障の財源政策」『国際社会保障研究』No. 23
- 1979年6月 「イギリスにおける年金費用増加とその要因の分析」『健康保険』Vol. 33, No. 6
- 1979年9月 「イギリスの社会福祉」国際社会福祉協議会日本国委員会『諸外国の社会福祉』

- 1980年3月 「国民保健サービスの発展と1974年の再編成」『法律時報』52巻3号
- 1980年3月 「イギリスにおける医療の社会化」『医療の社会化』No. 101
- 1980年7月 「イギリス一般医の地理的分布と診療報酬」『総合社会保障』1980／No. 7
- 1980年10月 「低賃金と社会保障—イギリスの問題を中心に—」『国際社会保障研究』No. 26
- 1980年11月 「現代の老後問題と調整年金制度」西村編『現代の労働福祉』有斐閣
- 1981年6月 「イギリスの社会福祉」国際社会福祉協議会日本国委員会編『各国の社会福祉』全国社会福祉協議会
- 1981年8月 「第1部第3章社会保障, 医療保障, 社会福祉」橋本正己他編『世界の公衆衛生』日本公衆衛生協会
- 1981年10月 「イギリスにおける老人医療の現状と課題」『国際社会保障研究』No. 28
- 1981年11月 「イギリス国民保健サービスの計画システム」『社会保険旬報』No. 1375 (1981.11.1)
- 1982年4月 「第5章高齢化社会における医療保障」吉村・西村編『高齢化社会の社会政策 (社会政学会研究大会社会政策叢書第3集)』啓文社
- 1983年3月 “Health Care in Japan—its development, structure and problems”, *The Three Banks Review* (イギリス), No. 137, March 1983. (co-authored with T.E. Chester)
- 1983年9月 「イギリスの社会福祉」国際社会福祉協議会日本国委員会編『各国の社会福祉 (改定版)』全国社会福祉協議会
- 1983年10月 「医療保険改革のあり方」『週刊社会保障』Vol. 37, No. 1247 (1983.10.3)
- 1983年11月 「医療保障の新しい課題」大前朔郎編著『労働史研究』啓文社

- 1984年2月 “Gesundheitswesen in Japan”, *Die Pharmazeutische Industrie*, Band 46, Jahrg. 1984. (co-authored with T.E. Chester)
- 1984年12月 「医療保険と医療費」佐口卓編『社会保険の構造と課題』社会保険福祉協会
- 1985年8月 「医療保障の効率化」藤田晴『成熟期段階の社会保障に関する研究』(59年度厚生科学研究報告書)
- 1985年9月 「医療保障の効率化」『文研論集』No. 72
- 1986年5月 「イギリスにおける老人医療の動向」『経済論集』(関西大学, Vol. 36, No. 1)
- 1986年9月 「国民保健サービスの発展と1974年の再編成」日本医事法学会編『医療の制度と保障』日本評論社
- 1987年3月 「60歳台前半層の仕事と生活」関西大学経済政治研究所雇用失業問題研究班編『雇用失業問題に関する研究(1)』
- 1987年5月 「医療における公私の関係」『社会保障法』日本社会保障法学会誌第2号
- 1987年7月 「高齢化社会における経済と福祉」小田・松原編『変革期の福祉とボランティア』ミネルヴァ書房
- 1988年3月 「イギリス福祉の到達点」仲村・小山編『戦後福祉の到達点』中央法規出版
- 1988年11月 「福祉の公的責任と民間福祉の問題」『月刊自治研』Vol. 30, No. 350
- 1988年11月 「安心できる老後を買う」『社会保険旬報』No. 1634 (1988/11/21)
- 1989年3月 「高齢者の雇用・失業と社会保障—西欧先進諸国の早期退職制度と部分年金制度を中心に」関西大学経済政治研究所雇用失業問題研究班編『雇用失業問題に関する研究(2)』
- 1989年4月 「60歳代前半層の雇用と社会保障」『週間社会保障』No. 1532 (1989/4/24)
- 1990年2月 「福祉とは何か [1]」『時の法令』No. 1372 (1990/2/28)

- 1990年3月 「福祉とは何か [2]」『時の法令』No. 1374 (1990/3/30)
- 1990年4月 「福祉とは何か [3]」『時の法令』No. 1376 (1990/4/30)
- 1990年5月 「介護のための財源を考える」『医療'90』Vol. 6, No. 5
- 1990年5月 「福祉とは何か [4]」『時の法令』No. 1378 (1990/5/30)
- 1990年7月 「福祉とは何か [5]」『時の法令』No. 1382 (1990/7/30)
- 1990年8月 「社会保障の歩み [1]」『時の法令』No. 1384 (1990/8/30)
- 1990年9月 「サッチャー政権と社会保障制度改革」宇都宮深志編著『サッチャー改革の理念と実践』三嶺書房
- 1990年9月 「社会保障の歩み [2]」『時の法令』No. 1386 (1990/9/30)
- 1990年10月 「戦後日本の社会保障の展開」社会政策学会叢書編集委員会『戦後社会政策の軌跡』啓文社
- 1990年10月 「社会保障の歩み [3]」『時の法令』No. 1388 (1990/10/30)
- 1990年11月 「社会保障の歩み [4]」『時の法令』No. 1390 (1990/11/30)
- 1990年12月 「社会保障の歩み [5]」『時の法令』No. 1392 (1990/12/30)
- 1991年3月 “Development of social security in postwar Japan”, *Kansai University Review of Economics and Business*, Vol. 19, Nos. 1-2, March 1991
- 1991年4月 「社会保障の体系 [1]」『時の法令』No. 1400 (1991/4/30)
- 1991年6月 「高齢者の社会保障の財源をどう確保するか」『医療'91』Vol. 7, No. 6
- 1991年7月 「社会保障の体系 [2]」『時の法令』No. 1406 (1991/7/30)
- 1991年8月 「社会保障の体系 [3]」『時の法令』No. 1408 (1991/8/30)
- 1991年8月 「高齢社会の社会保障の課題—介護手当制度の必要性を中心に—」『関西学院大学経済学論究』第45巻第2号
- 1991年9月 「職業と社会保障」岸井、金谷、大野、鯉坂、服部、一圓共著『現代社会と職業』関西大学出版部
- 1991年9月 「社会保障の体系 [4]」『時の法令』No. 1410 (1991/9/30)

- 1991年9月 “Development of social security in postwar Japan”, *Asian News Sheet* (ISSA Regional Office for Asia and the Pacific), Vol. 21, No. 3.
- 1991年10月 「社会保障の体系 [5]」『時の法令』No. 1412 (1991/10/30)
- 1991年11月 「社会保障の体系 [6]」『時の法令』No. 1414 (1991/11/30)
- 1991年12月 「年金制度 [1]」『時の法令』No. 1416 (1991/12/30)
- 1992年2月 「年金制度 [2]」『時の法令』No. 1420 (1991/2/29)
- 1992年3月 「イギリス所得保障政策の特質と最近の動向」『季刊年金と雇用』Vol. 10, No. 4
- 1992年3月 「医療保障制度 [1]」『時の法令』No. 1422 (1991/3/30)
- 1992年4月 「医療保障制度 [2]」『時の法令』No. 1424 (1991/4/30)
- 1992年8月 「高齢者の所得保障」内海洋一編著『高齢者社会政策』ミネルヴァ書房
- 1992年9月 「ベヴァリジ報告とNHS」社会保障研究所編『海外社会保障情報』No. 100
- 1993年8月 「公的年金見直しの行方—高齢化社会における保険料負担の問題」『労働の科学』Vol. 48, No. 8.
- 1994年12月 「社会保障の統合論」佐口卓編『日本経済と社会保障』社会保険福祉協会
- 1994年12月 「老人医療保障制度の課題」『生活経済学会会報』第10巻
- 1995年2月 「年金制度の一元化について」『日本年金学会誌』第14号
- 1995年5月 「年金について」「年金加入のポイント」上田昭三編『生活ファイナンスの基礎知識』東洋経済新報社
- 1995年6月 「イギリスの社会保障研究の今日—医療」『海外社会保障情報』111号 (Summer 1995)
- 1995年7月 「先進諸国における高齢者医療の現状と課題—イギリス」井上・上村・脇田編著『高齢者医療保障—日本と先進諸国』法律文化社

- 1995年9月 “Japanese Social Security: Its Past, Present and Future”, in John Dixon and Robert P. Scheurell (eds), *Social Security Programs, A Cross-Cultural Comparative Perspective*, Greenwood Press
- 1995年9月 「医療保障における世代間移転」『季刊社会保障研究』第31巻第2号
- 1995年9月 「オーストリアの医療と介護」『健康保険』第49巻第9号
- 1995年10月 「イギリスの医療保障と介護政策」『健康保険』第49巻第10号
- 1995年11月 「フランスの医療保障と介護政策の動向」『健康保険』第49巻第11号
- 1995年12月 「ドイツの医療保障の動向と介護保険」『健康保険』第49巻第12号
- 1996年3月 “Inter-generational Transfer System in Medical Care Schemes in Japan”, *Kansai University Review of Economics and Business*, Vol. 24, Nos. 1-2
- 1996年4月 「日本の社会保障の歩みと新しい社会保障の課題」『社会福祉研究』第65号
- 1996年5月 「高齢者福祉の世界的な流れ」岡本編『論争高齢者福祉』日本評論社
- 1996年7月 「公的介護保険制度の構想と運営」『ジュリスト』1094号（1996.7.15）
- 1996年8月 「21世紀の社会保障の課題」『三田商学研究』第39巻第3号
- 1996年9月 「日本の医療保障をめぐる議論とイギリスの国民保健サービス」『総合政策研究』2号
- 1997年3月 「介護保険と費用負担」『季刊労働法』181号
- 1997年8月 「社会保険の意義と保険者の役割（上）」『健康保険』第51巻第8号
- 1997年9月 「社会保険の意義と保険者の役割（中）」『健康保険』第51巻第9号
- 1997年9月 「イギリスにおけるNHS改革の意義と成果」『海外社会保障情報』120号（Autumn 1997）
- 1997年10月 「社会保険の意義と保険者の役割（下）」『健康保険』第51巻第10号

- 1998年3月 「超高齢社会における社会保険のあり方」大橋昭一編著『21世紀の大学・企業・社会』関西大学出版部
- 1999年1月 「所得保障」田端他編『世界の社会福祉：イギリス』旬報社
- 1999年1月 「国民保健サービス」武川・塩野谷編『先進諸国の社会保険：1 イギリス』東京大学出版会
- 1999年11月 「イギリスにおける国民保健サービスの改革」『月刊保団連』第634号
- 1999年12月 「医療保険の財源政策—標準保険料の確立を中心に—」『文研論集』第129号
- 2000年3月 「医療保険における保険者の役割」『社会問題研究』第49巻第2号
- 2000年6月 “Japanese Health Insurance System and Its Recent Reforms,” *International Symposium on the National Health Insurance* (by Korea Health and Welfare Forum)
- 2000年12月 “Introduction of Long-Term Care Insurance in Japan,” *International Review of Public Administration* (by Korea Association for Public Administration), Vol. 5, No. 2
- 2002年1月 「医療保障における戦後の成果と21世紀の課題」『月刊福祉』全国社会福祉協議会、
- 2002年9月 「イギリスにおける障害者に対する所得保障体系とその特徴」『海外社会保障研究』No. 140
- 2002年12月 「就業形態の多様化と個人参加の社会保険—医療保険改革のあり方—」『経済学論究』（関西学院大学経済学部）第56巻第3号
- 2003年3月 “New Principle of Social Insurance Contribution Rational to the Changing Labour Market; from family to individual application of social insurance”, *Kansai University Review of Economics*, No. 5
- 2003年8月 「イギリスの国民保健サービス制度とその運営主体の発展」『海外情報』、第59号

- 2004年2月 「コミュニティ創生と地域通貨の運動—時間預託制度の発展を中心に—」小西康生編著『LOCAL CURRENCIES—その現状と課題—』、神戸大学経済経営研究所・研究叢書64
- 2005年3月 「医療保険財政システムの課題」日本財政法学会編『社会保険の財政法的検討：財政法叢書第21号』龍星出版
- 2005年3月 (田畑雄紀との共著)「年齢別保険料の合理性について」関西大学経済・政治研究所少子高齢化社会の総合政策研究班編『世代間の自立・協力・公正—少子高齢化社会における雇用・年金・保険・家族—』関西大学経済・政治研究所
- 2005年10月 「岐路に立つ日本の社会保障」『社会福祉研究』第94号
- 2005年10月 (吉田しおりとの共著)「介護保険の現状と課題—ある市の実態をふまえて—」石本忠義編『少子高齢化と医療・介護・福祉問題』勁草書房
- 2006年3月 「第3章年金制度と世代間の自立、協力、公正」松下敬一郎編『少子高齢化社会における世代間の自立・協力・公正(平成16・17年度科学研究費補助金研究成果報告書)』
- 2007年2月 “Characteristics of Japanese Social Security,” Van Langendonck, Jef (ed.), *The Right to Social Security*, Intersentia)
- 2007年2月 「岐路に立つ日本の社会保障」『社会福祉学』第47巻第4号(通巻80号)
- 2007年3月 「少子高齢化と公的年金改革のあり方」松下敬一郎編『少子高齢化社会における世代間の自立・協力・公正(関西大学経済政治研究所研究双書第145冊)』
- 2008年3月 「イギリスの医療制度における診療所の役割」『政策創造研究(関西大学政策創造学部)』
- 2008年6月 「イギリスのプライマリケアと一般医の診療報酬」『健保連海外医療保障』No. 78

- 2008年12月 「所得保障」直井・中野・和気編『高齢者福祉の世界』有斐閣
- 2009年9月 「社会保障による地域間再分配」『生活経済学研究』第30巻
- 2010年1月 「総合医制度の定着に向けて」『生活経済政策』No. 156
- 2010年3月 「医療保険の財源政策と健康保険組合」健保連編『医療財源への消費税等の投入に関する理論構築』
- 2010年8月 「Pension Reform in Changing Employment and Family structure (in Chinese)」『社会保障研究』(中国人民大学中国社会保障研究中心)、2010年第1期
- 2011年1月 「皆保険の意義と今後の課題」『週刊社会保障』No. 2610 (2011/1/3)
- 2011年6月 「イギリスにおける社会保障と税制」『健保連海外医療保障』No. 90 (2011/6)
- 2011年11月 「公的年金保険の役割」中川・埋橋編『生活保障と支援の社会政策』明石書店
- 2011年12月 「皆年金の意義と年金政策の課題」『季刊社会保障研究』Vol. 47, No. 3, Winter 2011
- 2012年3月 「岡村理論と社会保障」松本・永岡・奈倉編『社会福祉原理論』ミネルヴァ書房
- 2012年3月 (田畑雄紀との共著)「イギリスの家庭医制度」『健保連海外医療保障』No. 93 (2012/3)
- 2012年3月 「ヨーロッパにおける総合医の役割」財政・社会保障制度研究班編『社会保障と財政を考える』(研究双書第153冊) 関西大学経済・政治研究所
- 2012年10月 「社会的排除と社会保険による所得保障—就業形態の多様化と年金保険のあり方」『Int'l ecowk』第67巻第10号

【翻 訳】

- 1973年10月 「イギリス国民保健サービスの組織改革に関する諮問文書」『国際社会保障研究』No. 11
- 1975年3月 (共訳)「1973年イギリス国民保健サービス再組織法」『国際社会保障研究』No. 15
- 1977年3月 「予防医療の分野における社会保障機関の活動」『国際社会保障研究』No. 19
- 1978年9月 「スウェーデンの部分年金制度」『国際社会保障研究』No. 22
- 1980年6月 WHO 編『保健経済学と保健計画』日本公衆衛生協会 (WHO, *The Role of Health Economics in National Health Planning and Policy-Making*, WHO, 1978)
- 1985年5月 エイベルスミス「主要国の医療保障制度と年金制度の動向と展望」健康保険組合連合会編『社会保障年鑑 (1985年版)』東洋経済新報社
- 1986年3月 一圓・炭谷・三友共訳『エイベルスミス著・医療保障の経済学』保健同人社 (Brian Abel-Smith, *Value for Money in Health Services*, Heinemann, 1976)
- 1987年3月 (翻訳・解説)『イギリスにおける貧困と平等』光生館 (J.Kincaid, *Poverty and Equality in Britain, a Study of Social Security and Taxation*, Penguin Books, 1979)
- 2004年10月 一圓光彌編訳『医療財源論—ヨーロッパの選択』光生館 (「第8章戦略的財源配分と財源政策の決定」(Mossialos, Elias (eds.), *Funding Health Care*, Open University Press, 2002)
- 2007年3月 「第8章年金の制度設計：その選択肢」ニコラス・バー著、菅沼隆監訳『福祉の経済学—21世紀の年金・医療・失業・介護—』光生館 (Barr, Nicholas, *The Welfare State as Piggy Bank*, Oxford University Press, 2001)

【調査研究報告書】

- 1973年11月 健康保険組合連合会編集発行『健康保険法の歩み—その制定と改正の経過』（分担執筆）
- 1978年1月 「第2部2章ロンドン」「第2部6章所得保障」国際社会福祉比較研究会『社会福祉水準の国際比較研究』（50・51・52年度東京都民生局委託研究報告書）
- 1979年7月 健康保険組合連合会編『西ドイツ医療保険の動向と展望・イギリス医療保障制度の現状と課題』（イギリス執筆）
- 1981年3月 「社会保障の果たす役割」『社会保障と損害賠償』（安田火災記念財団叢書, 第18号）
- 1982年12月 「イギリスの企業年金」平田富太郎編『諸外国における高齢化社会の到来と企業の対応』（公企労センター調査研究資料103号）
- 1987年3月 「高齢者の医療」一圓他『高齢者の生活に関する国際比較研究』（昭和60年度郵政省委託研究報告書）
- 1987年3月 西宮市市民局『60歳前半層の仕事と生活』（西宮市労働実態基本調査報告書全文執筆）
- 1991年3月 「社会福祉の課題と家計」一圓編『高齢化社会における社会保障と家計』（近畿郵政局平成2年度郵便貯蓄に関する特別委託研究）
- 1991年3月 兵庫県長寿社会研究機構『有償福祉活動による報酬預託制度の開発に関する調査研究』（委員長）
- 1992年3月 兵庫県長寿社会研究機構『地域福祉公社等のあり方に関する調査研究報告書』（委員長）
- 1994年3月 「老後医療保障制度の課題」小林・藤田・一圓・木村『老後保障の再構築について（郵便貯金に関する特別委託研究）』
- 1994年9月 『在宅福祉サービスにおける時間預託制度の広域運用に関する研究報告書』（在宅福祉サービス預託団体連絡会時間預託制度広域運

用研究会報告書) (座長)

- 1996年2月 「オーストリアにおける医療保障及び高齢者介護の現状と動向」健康保険組合連合会編集・発行『ドイツ・オーストリア・フランスの高齢者介護施策の現状』
- 1996年3月 『高齢者介護保険のありかたに関する研究』(平成7年度生活経済学会研究助成による研究報告書) (単著)
- 1998年3月 健康保険組合連合会『健康保険組合の適正規模に関する調査研究事業報告書』(座長)
- 2000年3月 『高齢社会における社会保障の果たす役割と自助努力のあり方』(近畿郵政局貯金部平成11年度個別委託研究) (単著)
- 2001年3月 「第2章イギリス」医療経済研究機構編『欧米先進諸国の医療政策決定過程に関する調査研究報告書』医療経済研究機構
- 2001年3月 「第1章イギリス調査報告」社団法人生活福祉研究機構『地域福祉に関する海外調査報告書』社団法人生活福祉研究機構
- 2006年3月 「第1章介護保険の課題と地域包括支援センターの論点」「第2章金沢市における取り組み」「第4章伊賀市における取り組み」生活福祉研究機構編『地域包括支援センター整備推進のための調査研究報告書』
- 2008年1月 「支払い方式：プライマリケア」イギリス医療保障制度に関する研究会編『イギリス医療保障制度に関する調査研究報告書(2007年版)』医療経済研究機構
- 2010年5月 健保組合論の構築に関する調査研究委員会『健保組合論(医療政策と健康保険組合の役割)の構築に関する調査研究報告書』(座長)

【年鑑等への継続的な執筆】

健康保険組合連合会編『社会保障年鑑』東洋経済新報社(「イギリス」執筆)
(1973年より2009年)

- 厚生統計協会編集・発行『保険と年金の動向』（「イギリス」執筆）（1973年より2011年）
- 集英社編集・発行『イミダス』（「社会保障・社会福祉」執筆）（1998年より；ただし2007年よりデジタル化）
- 三浦文夫編著『図説高齢者白書』全国社会福祉協議会（「第10章医療」執筆）（2004年より2007年）

【その他】

- 1971年7月 「社会保障制度と社会制度」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 19
- 1971年10月 「年齢階層別の医療支出」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 20
- 1973年1月 「社会保障における公的扶助の役割」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 21
- 1973年1月 「アメリカ老人健保の被保険者」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 21
- 1973年3月 「D.ブル編『家庭の貧困』」（書評）『国際社会保障研究』Vol. 10
- 1973年4月 「国民保健サービス費のコントロール」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 22
- 1973年7月 「1971年私的健康保険の現状」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 23
- 1973年10月 「欧州各国の医療費」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 24
- 1973年10月 小倉・小松・高島編『社会福祉の基礎知識』有斐閣（分担執筆）
- 1974年1月 「ヨーロッパの健康保険制度」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 25
- 1974年6月 仲村・一番ヶ瀬・重田・吉田編『社会福祉辞典』誠信書房（分担執筆）
- 1974年7月 「社会保障の統合」（文献紹介）『海外社会保障情報』No. 26

- 1974年7月 「ブラウン著『発展する国民保健サービス』」(書評)『国際社会保障研究』No. 13
- 1974年10月 「失業者に対する政策—援助か抑圧か」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 27
- 1975年4月 健康保険組合連合会編『社会保障年鑑(1975年版)』東洋経済新報社(「カナダ」執筆)
- 1975年7月 「ニュージーランド新拠出制年金制度」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 30
- 1975年7月 「アメリカの社会保障費」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 30
- 1975年9月 「オーストラリアの医療保障とメディバンクの誕生」『国際社会保障研究』No. 16
- 1975年10月 「ベルギー保証所得制度の拡張」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 31
- 1975年12月 「オーストラリアの医療保障改革」『社会保険—実務と法令』Vol. 13, No. 12
- 1976年1月 「アメリカ年齢階層別国民医療費」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 32
- 1976年3月 「カナダ年金制度の改正」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 33
- 1976年7月 「イギリス国民保健サービスの問題」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 34
- 1977年1月 「アメリカ健康保険10年の歩み」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 36
- 1977年3月 「年金のスライド制—先進8カ国の経験」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 37
- 1977年3月 「エイベルスミス著『保健医療資源の有効利用』」(書評)『国際社会保障研究』No. 19
- 1977年6月 「ティトマスと社会福祉」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 38

- 1977年9月 「スタグフレーション下の経済と社会保障」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 39
- 1978年3月 「平等と社会政策」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 41
- 1978年6月 「各国年金給付水準」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 42
- 1978年9月 「国の年金制度と職域年金制度の関係」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 43
- 1978年12月 「イギリス保守党の国民保健サービス改革案」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 44
- 1979年3月 「イタリアの年金スライド制」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 45
- 1979年6月 「児童の貧困と児童給付」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 46
- 1979年6月 「イギリス医療保障とサッチャー政権」『デンティスト32』Vol. 4, No. 6
- 1979年9月 「ティトマス以降のソーシャル・ポリシー」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 47
- 1980年3月 「家族形態の変化と社会保障」(文献紹介)『海外社会保障情報』No. 49
- 1980年4月 荒・内田・福岡編『経済学辞典』講談社(分担執筆)
- 1982年3月 「現代の年金政策」『日本労働者福祉研究協会報』No. 77 (1982.3.31) (p.26-36)
- 1982年8月 「増加する医療費と医療保険」『共済新報』Vol. 23, No. 8
- 1982年12月 「高齢化社会と社会保障」『産業セミナー』(関西大学経済政治研究所発行)
- 1983年10月 「イギリス社会保障の動向」『国際社会保障研究』No. 32
- 1983年12月 「水巻中正著『崩壊する楽天国』」(文献紹介)『季刊労働法』No. 130
- 1984年11月 平凡社編集発行『大百科辞典』(分担執筆)

- 1985年2月 佐藤 進監修『社会福祉小六法』誠信書房（国民年金法・厚生年金法の解説）
- 1985年7月 「石本他編著『社会保障の変容と展望』」（書評）『週刊社会保障』No. 1370（1985/7/27）
- 1988年7月 「イギリスの社会サービス」『厚生福祉』No. 3694（1988/7/16）
- 1988年7月 「国民保健サービスの患者一部負担の改訂」『海外情報』No. 6
- 1988年11月 「イギリスの医療事情」『健康保険』Vol. 42, No. 11
- 1989年1月 「イギリスの医師に対する報酬の仕組みと現状」『海外情報』No. 8
- 1989年1月 「コミュニティ・ケアのあり方」『海外情報』No. 8
- 1989年4月 「イギリスの国民保健サービスの改革案」『海外情報』No. 9
- 1989年7月 「イギリス医師会が政府のNHS改革に反対を決議」『海外情報』No. 10
- 1990年1月 「イギリスの医療費対策」『共済新報』第31巻第1号（p.20-29）
- 1990年3月 「イギリス医師会、NHS改革に一部同意」『海外情報』No. 12
- 1990年4月 「病院医療費抑制策の問題」『海外情報』No. 13
- 1990年4月 日本医療企画編集・発行『ウイバ90』（「イギリス、医療、福祉」分担執筆）
- 1990年7月 「各国の受診率と医師の所得の比較」『海外情報』No. 14
- 1990年10月 「イギリス民間医療保険の現状」『海外情報』No. 15
- 1991年1月 「アメリカ：現代医療への疑問」『海外情報』No. 16
- 1991年4月 「OECD：17カ国の医療費の比較」『海外情報』No. 17
- 1991年4月 日本医療企画編集・発行『ウイバ91』（「イギリス、医療、福祉」分担執筆）
- 1991年10月 「アメリカの医療の問題とあるべき医療保障の仕組み」『海外情報』No. 19
- 1992年1月 「西欧諸国の一般医の勤務と報酬」（1）『海外情報』No. 20
- 1992年4月 「西欧諸国の一般医の勤務と報酬」（2）『海外情報』No. 21

- 1992年5月 日本医療企画編集・発行『ウイバ92』（「イギリス、医療、福祉」
分担執筆）
- 1992年7月 「西欧諸国の一般医の勤務と報酬（3）『海外情報』No. 22
- 1992年7月 “Future Estimation and Issues of Manpower Needs in the Aged
Society in Japan”, H. Orimo et.al. (eds), *New Horizons in Aging
Science*, The Organizing Committee of the Fourth Asia/Oceania
Regional Congress of Gerontology.
- 1992年8月 「高齢社会への対応：所得保障」折茂 肇編『新老年学』東京大学
出版会
- 1992年9月 「高齢社会の扶養負担」『私学共済』No. 481
- 1992年10月 「西欧諸国の一般医の勤務と報酬（4）『海外情報』No. 23
- 1993年1月 「西欧諸国の一般医の勤務と報酬（5）『海外情報』No. 24
- 1993年4月 「西欧諸国の一般医の勤務と報酬（6）『海外情報』No. 25
- 1993年5月 日本医療企画編集・発行『ウイバ93』（「イギリス、医療、福祉」
分担執筆）
- 1993年6月 「相沢与一著・社会保障の基本問題（書評）」（社会政策学会年報
『現代の女性労働と社会政策』御茶の水書房）
- 1993年6月 京極高宣監修『現代福祉学レキシコン』雄山閣出版（社会保険ほ
か分担執筆）
- 1994年3月 「ヨーロッパの医療制度の動き—欧米の医療保障政策の動向と日
本の課題」『健康保険』第48巻第3号、1994年3月
- 1994年5月 健康保険組合連合会編『社会保障年鑑（1994年版）』東洋経済新報
社（「医療保障制度の改革と介護サービス制度」分担執筆）
- 1994年5月 「書評：ミッチェル著埋橋他訳『福祉国家の国際比較研究』」
『Int'lecowk』840号
- 1994年6月 「21世紀福祉ビジョンの意義と今後の課題」『総合社会保障』、32巻
6号（1994年6月）

- 1994年9月 「医療・福祉マンパワーと国民経済」『医療'94』Vol. 10, No. 9
- 1994年10月 「書評：檉原 朗『イギリス社会保障の史的研究』」『社会福祉研究』（鉄道弘済会）61号
- 1995年1月 「医療保険展望」『共済新報』第36巻第1号
- 1995年5月 「座談会：福祉と経済学（上）」『経済セミナー』第484号
- 1995年6月 「座談会：福祉と経済学（下）」『経済セミナー』第485号
- 1995年7月 「福祉は社会のお荷物論はもう古い」『経済セミナー』第486号
- 1995年12月 「介護保障の課題」『経済セミナー』第491号
- 1995年12月 「高齢化社会と社会保障」（関大法学研究所第13回シンポジウム高齢化社会と税制）『ノモス』第6号
- 1996年1月 「座談会：福祉と経済（上）」『経済セミナー』第492号
- 1996年2月 「座談会：福祉と経済（下）」『経済セミナー』第493号
- 1996年6月 日本医療企画編集・発行『ウイバ96』（「イギリス、医療、福祉」分担執筆）
- 1996年6月 「対談：ふれあい切符の課題」田中尚輝著『市民社会のボランティア』丸善ライブラリー
- 1996年12月 「日本における医療保障の課題——老人医療を中心に——」『ノモス』7号
- 1997年4月 「エイベルスミス氏を偲んで」『海外社会保障情報』118号（Spring 1997）
- 1997年4月 「書評：岡本祐三『自立と連帯の高齢社会』」『研究所通信』（部落解放研究所）224号
- 1997年5月 「介護保険と地域の福祉力の形成」『まちづくり KIDS』Vol. 12
- 1997年6月 「書評：Falkingham & Hills, *The Dynamic of Welfare, The Welfare State and the Life Cycle*」『季刊社会保障研究』第33巻第1号
- 1997年7月 「新たな高齢者介護制度について」『日本福祉年鑑'97-'98』講談社
- 1997年7月 「書評：広井良典『医療保険改革の構想』」『からだの科学』195号

- 1997年10月 「イギリスの医療改革の意義と課題」『ばんぼう』1997年10月号
- 1997年12月 「医療制度の抜本改正に向けて」日本労働組合総連合会『記録=医療改革シンポジウム』日本労働組合総連合会生活福祉局
- 1998年1月 「これからの医療保険制度と老人保健施設」『第8回全国老人保健施設大会』
- 1998年1月 「医療保険制度改革の課題」『共済新報』(第39巻 第1号)
- 1998年5月 「適正規模の医療保険」『こくほ大阪』(第276号)
- 1998年5月 「書評：松溪憲雄『イギリスの医療保障』」『共済新報』39巻5号
- 1998年7月 「イギリスの年金制度」『世界の労働』(第48巻 第7号)
- 1998年7月 「高齢社会の医療保障と医療費」『くらしと保険』(第332号)
- 1998年7月 「保健福祉活動の充実と医療費」『こくほ大阪』(第277号)
- 1998年9月 「保健福祉活動の充実と国民健康保険財政」『こくほ大阪』(第278号)
- 1998年11月 「市町村保健活動と医療費」『こくほ大阪』(第279号)
- 1999年1月 「所得保障」折茂 肇編『新老年学』東京大学出版会
- 1999年1月 「患者負担引き上げの効果」『こくほ大阪』(第280号)
- 1999年3月 「国保保険料のあり方」『こくほ大阪』(第281号)
- 1999年6月 「21世紀の医療保険制度は組合方式で」『健康保険』第53巻 第6号
- 1999年6月 「書評：八田達夫・八代尚弘著『社会保険改革』」『季刊社会保障研究』第35巻 第1号
- 1999年9月 「4カ国生活環境徹底比較：イギリス」『楽園計画』第4号 (小説推理9月号増刊)
- 2000年3月 「医療保険もニードに応じた予算配分へ」『ウェルフェア』第39巻 第2号
- 2000年6月 「社会保障の概念」『日本医師会雑誌特別号：医療の基本ABC』第123巻第12号
- 2001年3月 日本医療企画編集・発行『ウイバ2001』(「イギリス、医療、福祉」

分担執筆)

- 2001年7月 「雑感：健常者の時代を超えて」『平成12年度定藤記念福祉研究会年報』
- 2001年8月 「高齢者医療保険制度のあり方」『勤労者福祉』2001年8月号
- 2001年12月 「保険者機能の強化策について」『健康保険』2001年12月号
- 2002年1月 「個人参加の社会保障システムを」『社会保険旬報』No. 2122, 2002. 1.11
- 2002年4月 「質疑応答：皆保険の意義と課題」『日本医事新報』第4068号 (2002.4.13)
- 2002年6月 「老人保健制度の修正を超えて」『関西経協』第56巻第6号
- 2002年6月 「イギリスの医療保障制度の概要」『世界の労働』第52巻第6号
- 2003年10月 「高齢社会と社会保障の危機—医療保険改革を中心に—」『季刊ひょうご経済』、第80号
- 2004年12月 「年金改革と世代間・世代内の公平」『産業セミナー年報2004』
- 2005年8月 「なぜ高齢者の特別制度なのか」『埼玉の国保』(埼玉県国民健康保険団体連合会) No. 202
- 2006年11月 「医療制度改革と保険者機能」『公衆衛生』(医学書院) 第70巻第11号
- 2007年1月 「イギリスにおける家庭医事情—家庭医と新しい報酬体系」『MMPG 医療情報レポート』Vol. 82 (2007.1.31)
- 2007年7月 「病院とかかりつけ医—英国の場合」『ケアマネジメント』Vol. 18, No. 7
- 2007年12月 「医療保険」「ナショナルミニマムとシビルミニマム」岡本他編『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規出版
- 2009年4月 「イギリスの福祉—福祉国家の成立と変容」、山口・小林・斎藤編『21世紀イギリス文化を知る事典』東京書籍
- 2009年6月 「健康保険組合が果たすべき役割」『健康保険』第63巻第6号 (2009

年6月)

- 2009年9月 “Pension Reform in Changing Employment and Family structure,”
The Fifth International Conference on Social Security (hosted by
Social Security Research Center of China, Renmin University of
China, etc.), *Collected Papers for the Sessions of Asian-European
Dialogue and Youth Round-table*.
- 2010年3月 「ヨーロッパの医療保障制度とその課題」全国社会保険協会連合会
『平成21年度海外医療事情・社会保険制度視察調査団報告』全国社
会保険協会連合会
- 2010年5月 「書評：田多英範『日本社会保障制度成立史論』」『社会福祉学』第
51巻第1号
- 2010年7月 「国民皆保険下で自治的な保険者が担う役割」『健康保険』第64巻
第7号
- 2010年7月 「高齢者医療制度の改革と国民健康保険」『神奈川のこくほ・かい
ご』No. 347
- 2011年12月 「(座談会) 国民皆保険・皆年金：その歴史、今日の課題と展望」
『生活経済政策』179号
- 2012年3月 (講演記録) 「ヨーロッパの医療保障制度と家庭医制度」関西大学
経済・政治研究所編『セミナー年報2011』関西大学経済・政治研
究所
- 2012年4月 「ヨーロッパの総合医制度」『健康保険』第66巻第4号
- 2012年11月 「高齢者医療制度の変遷」『健康保険』第66巻第11号